

アルク『子ども英語カタログ2010』調べ 全国のプリスクール数 最新調査結果発表

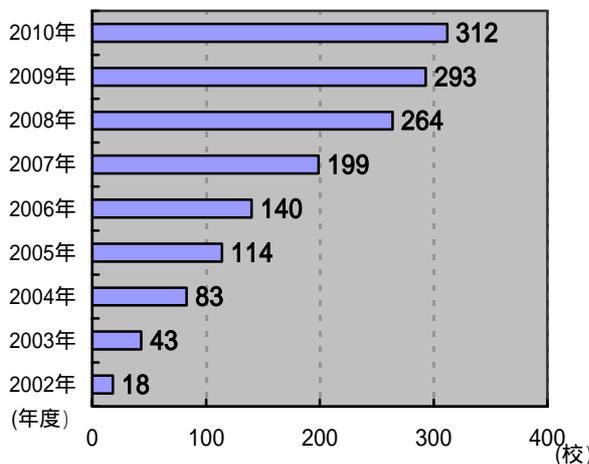
子どもの英語環境の今

株式会社アルク(東京都杉並区永福 代表:平本照磨)より、年度版ムック『子ども英語カタログ2010』で調査した全国のプリスクール数の最新結果を発表いたします。プリスクールとは未就学児が1日に数時間、週1日~5日程度、英語の環境で保育・教育をうける施設全般のことです。子どもの英語情報ムック『子ども英語カタログ』では、2002年度版より毎年全国のプリスクールの状況を調査。今年も最新のスクール情報をお届けいたします。

また、小学校での英語必修化を2011年に控え、現在子どもにあたえている英語子育て環境の調査結果もご報告いたします。

英語子育ての早期化と選べる英語環境

全国のプリスクール数の推移

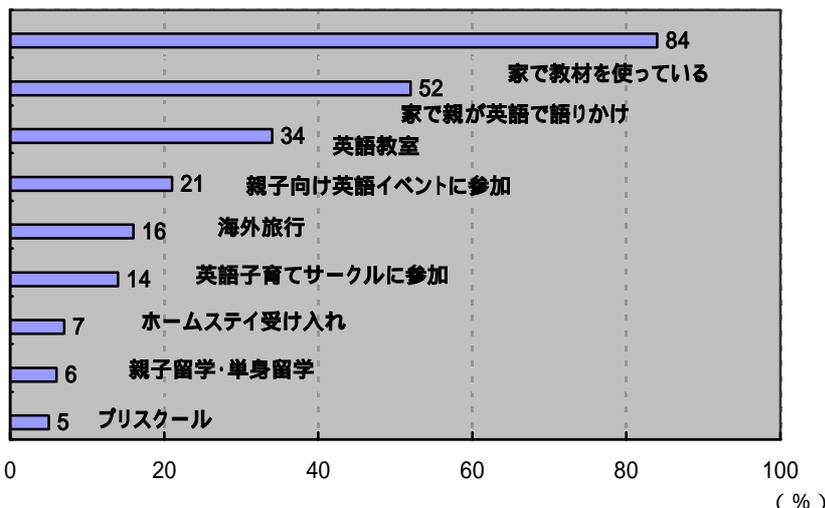


プリスクールは今年も増加傾向に

今年は昨年度より19校増え、312校を数えました。(Webサイトでは2009年2月2日現在317校)子どもに早いうちから英語環境を、と願う親の注目を集めているのがプリスクール。首都圏や関西圏に集中の傾向があるも、全国的にその数は増えています。

出典:『子ども英語カタログ2010』、「英語子育てA to Z」より

子どもにあたえている英語環境



英語子育てのベースは家庭

英語子育てに励む家庭からは、英語に早くから親しませることが家族間のコミュニケーション、きずなを深める助けにもなる、という声が寄せられています。『子ども英語カタログ2010』調べのアンケートによると「家庭で英語教材を使用」、「親が英語で語りかける」など、多くの読者が家庭中心の英語子育てをおこなっていることが判明しました。

(アンケートについて 対象:お子さんを何らかの方法で英語にふれさせている、またはふれさせたことのある保護者 実施期間:2008年7月30日~8月17日 回答者数:234人)

「英語子育てパパ」は50%

『子ども英語カタログ2010』調べのアンケートでは、「積極的にかかわっている」(13%)、「ときどきかかわっている」(37%)と、全体のちょうど半数が「パパも英語子育てにかかわっている」という結果が。

「英語子育てパパ」も増加傾向にあるようです。(本誌 p. 19 に掲載)

アンケートのコメント(抜粋)

「海外出張に家族を同行、iPod や Apple TV で英語環境をつくってくれる」「気持ち・お金の面で理解してくれる」など



2009年2月2日

0歳～12歳の英語情報ブック『子ども英語カタログ2010』 2009年1月29日発売

『子ども英語カタログ2010』ではこのほか、プリスクールと英語教室の徹底比較や、今後迎える小学校時代の選択肢、など子どもの英語環境に関する記事を多彩に掲載しています。



ISBN978-4-7574-1537-9
本のみ(A4変型判、縦297×横230×厚さ8mm)
167ページ
定価：980円(税込)

特集1 家族がもっとなかよくなる 英語子育てA to Z

0～12歳の年齢別・英語子育て実践法を体験談とともに紹介、成長に合わせた環境づくりを提案します。「いつ、何を、どうしたらいい?」はこれで解決。

特集2 最新 教材セレクト100

「おうちで英語」をサポートする、人気の英語教材を年齢別にピックアップ。おすすめ洋書絵本やよそのお宅の教材にまつわるストーリーも掲載。

特集3 うちの子が小学生になったら?

英語教育を続けていく場合、どんな選択肢があるか。私立小学校や海外の小学生の教育事情などのレポートを通じて、小学生の英語環境を考えます。

そのほか、プリスクールと英語教室の特長や選び方、英語子育てで先輩ママによる座談会、子ども向け英検の活用法等。現役英語子育てママたちの体験談や思いなどもおりまぜながら、英語子育てに役立つ情報をお届けします。

本リリースのお問い合わせ、及びプリスクールのデータ・アンケート結果に関するお問い合わせ、取材につきましては下記までお願いいたします

株式会社アルク 広報部 (担当:河合)

〒168-8611 東京都杉並区永福2-54-12 TEL:03-3323-3521 FAX:03-3327-3971

e-mail: menet@alc.co.jp <http://www.alc.co.jp/press/>